

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぱれっと式番館		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 20 日	～	令和 7 年 2 月 10 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 28名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 20 日	～	令和 7 年 2 月 10 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 11 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中高生の児童が中心となっており同世代の関りを持つ事が出来る。	同世代での活動を行う中で、自分たちで考える時間を設けながら支援を行っています。	伝える事や自分で選択する事が苦手な場合は、選択肢を設けたり絵カード、言葉カードなどを使用し児童に合わせた伝えやすさを考慮しながら支援を行っています。
2	保育士・児童指導員・作業療法士等の専門の職員が連携しながら支援を行っている。	就労に向けての作業学習など取り入れながら専門的に対応を行っています。	就労移行支援事業所の方などと直接かかわる機会を設け就労を意識した活動を今後も増やして行きます。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの関わりや地域の方との関りが不足している	地域の場を借りての活動はありますが、事業所のみでの活動と なってしまっている。	他者との関りが苦手な児童も居る為、少人数の関りから少しづつ幅を広げていながら関わり方を学んでいきたいと考え ています。
2	外部への研修が少ない	事業所内での研修が主となっている為、意見交換の幅が狭く 立 て しま う 可 能 性 が 有 る 。	外部研修など様々な意見交換が出来る場へ積極的に参加。管 理 者 等 が 決 ま っ た 職 員 で は な く 全 体 的 に 参 加 が 出 来 る 様 に 研 修 等 の 情 報 を 全 員 で 共 有 し て い っ き ま す 。
3			